

平成30年(2018年)10月4日(木曜日)



三島の元気の象徴である中心商店街に空き店舗が出始めた。少し前ならすぐに次の店が埋まった勢いも鈍く感じる。一方で観光交流客数は増加傾向にあり、関係者は折に触れて数字をPRする。数字といえは三嶋大祭りの見物客数がここ数年、客観調査なしに、人混みの雰囲気などを基に決められていた。今年は

### にぎわいの数字と実態

前年比4万人増の50万人だったそうだ。

以前から三島の人の、数字へのこだわりが気になってきた。疲弊する他市町とは違うという妙なプライドが、実績偏重の空気を生んでいる気がする。

大切なのは来訪者が本当に満足して帰ったか、地元にお金は落ちたかどうかだ。実態に向き合わずに、いずれ手遅れにならないかと心配になる。  
(三島支局・河村英之)